

中江兆民 ちゅうけい せいのたけ 評論家。弘化四年十一月一日上佐國生れ、明治二十年四月十一日十二月廿二日歿（八四七一九〇一）。本名篤介、幼名竹馬、篤助。別號南海仙漁、木強生、火の番翁、秋水、青陵、兆民生、兆民老人、兆生等。明治四年フランス留學、七年歸國して佛學教を講じ、翌年東京外國語學校校長、また元老院權少書記官と十年辭官。十四年『東洋自由新聞』主筆、翌年『政理叢談』創刊。その後『東洋新聞』、『自由新聞』、『北門新報』等の主筆を務め、二十二年衆議院議員を程なく辭職。二十二年國民黨を組織し、二十二年國民同盟會に参加。『中江兆民全集』全十七卷別卷一（昭和五十八年十一月十五日一六二一年四月二十日岩波書店）刊。

譯著書、アルフレット、フーイエー著『理學沿革史』全二冊（本名、譯、上册・明治十九年二月、下册・四月文部省編輯局）、『理學鈞考』

（同、明治十九年八月自刊、集成社）、『櫻人自伝』（内題「櫻人自伝」）同、明治二十二年四月五日金港堂）、『佛和字彙』（同、

野村泰亨共譯、明治二十八年十一月二十八日野村泰亨刊、佛學研究會藏版）、スコパンノーエス（後編シヨツペンハウエス）著・ビュール

ドー譯 倫理學 参考書 『道德學大原論』全二冊（同、重譯、前編・明治二十七年二月二十五日、後編・九月二十一日一三二館）、『一年有半』（注

前）『續稿』）（同、明治二十四年九月一日博文館）、『續一年有半』（一名無神無靈魂・附錄理學鈞考）（同、明治三



十四年十月十五日博文館）、『續稿』『警世名言』（中江兆民著、木義寛校訂、明治二十五年五月七日松本三松堂）、

『中江兆民集』（昭和四年二月十日改選社「改選文庫」）、『一年有

- 半・續一年有半』(嘉治隆一鏡校、昭和十一年二月、一千九百岩波書店)
- 「岩波文庫」()、可兆民選集』(同、昭和十一年四月、千九百岩波書店)
- 「岩波文庫」()、可二醉人経論問答』(藤原武夫訳注、昭和四十年二月、千九百岩波書店「岩波文庫」)等。
- 文獻、先民山人著「宇宙大觀」(各帙一年有半)』(明治三十四年十一月、千九百岩波書店)
- 高橋五郎著「一年有半と舊式の唯物論」(無題、無神哲學叢論一居坪の)』(中江兆民一年有半と續一年有半を評す)』(明治三十四年十一月、千九百岩波書店)
- 藤原武夫編「中江兆民の研究」(京都大学人文科学研究所報告)』(昭和四十一年二月、千九百岩波書店)、
- 松永昌三著「中江兆民」(昭和四十一年四月、千九百岩波書店)等。